

もっと知ってほしい 下水道のこと



わたしたちが生活の中で汚した水を浄化して自然に返したり、雨水を排水して、街を浸水から守ってくれたり、下水道は大変重要な役割を果たしています。しかし、下水道は道路の下にあるため、人目に触れることもなく、大きな働きをしている割には、下水道のしくみはあまり知られていません。そこで今回は、その役割などについてご紹介します。

あまり知られていない下水道のしくみ



汚れた水を流すだけではありません

下水道の役割について聞かれたら、ほとんどの人は「汚れた水やトイレの水を流すための施設と答えるのではないのでしょうか。」

しかし、その水がどこへ流れていき、どこなるのかを答える人は少ないと思います。みなさんの家庭から出た汚水を、きれいな水に生まれ変わらせる下水道のしくみを知れば、より快適に水を使うことができるはずです。しくみを知り正しい使い方をすることが、きれいな水をつくるための第一歩なのです。

今まで、流せるものは何でも下水に流せばいいと思っていた人も、これからは流す前にちょっとだけこの下水道の話を思い浮かべてください。

浸水から街を守ります

下水道の役割で意外に知られていないのが、水害から街を守る働きです。市の施設は汚水と雨水を別々の管で流す方式を取っている

て、台風などの大雨のときはこの雨水管が住宅を浸水から守ってくれます。

市内では、絶えず浸水被害の心配があった幸町や新町が、下水道の整備により水害に強い街に生まれ変わりました。

下水道のしくみ

各家庭の台所、ふろやトイレ、工場などの汚れた水を管きよで集め、途中ポンプ場などを中継しながら下水道施設の中心である終末処理場へ送ります。集められた汚水は化学的に処理され、安全できれいな水にして、川や海へ流されます。

また、雨水は管きよなどを通り調整池に集められ、そのまま川に流されています。

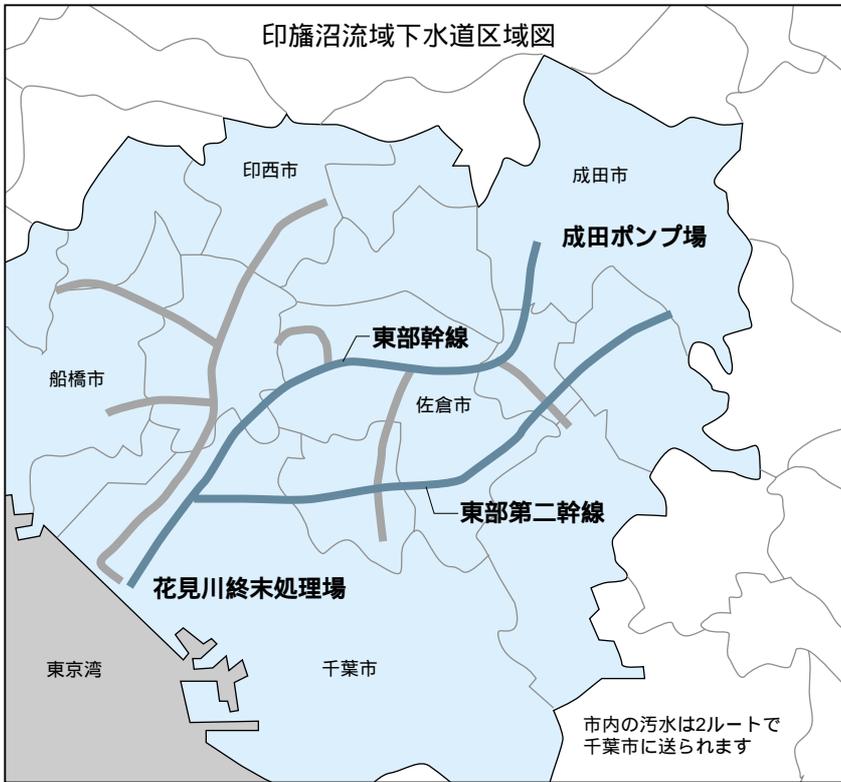
成田市下水道

市の下水道は、左図のような汚水と雨水を別々の管路で排水処理する分流方式を採用しています。また、下水道整備については、11市2町2村が集まり統合的に行う印旛沼流域下水道事業の中で進められています。

終末処理場

集められた汚水を、化学的に処理して、安全できれいな水にして川や海に流す施設





汚水や雨水はどこへいくの？



みなさんは、市内の汚水や雨水が一体どこへ流れていくと思いますか。

実は成田市内で発生した汚水は、左図の2ルートの下水道幹線を通り、千葉市の花見川終末処理場に送られています。

Q どうして成田の汚れた水、わざわざ千葉市まで運んでいるの？



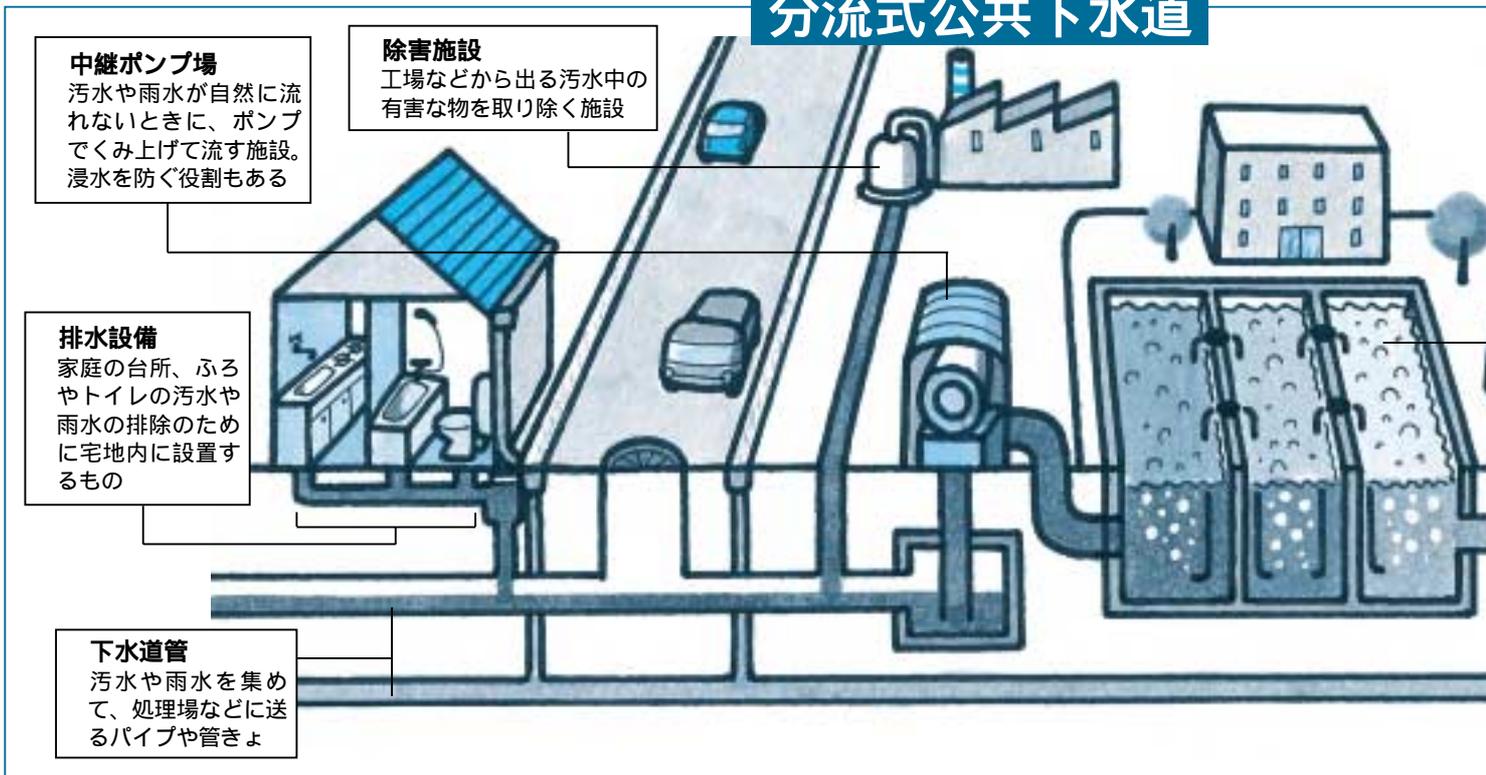
A それはね、いくつかの町が一緒になって汚水を処理した方が、広い範囲の水がきれいになるし、施設を何カ所もつくるよりお金が安くすむだろう。だから成田市も、印旛沼流域下水道事業の仲間になって、終末処理場のある千葉市まで水を送っているんだよ。



成田市を含む、印旛沼流域下水道事業区域内の11市2町2村の汚水はすべてこの施設に集められます。ここで、微生物の働きを利用して、化学的に処理された汚水は、きれいで安全な水に生まれ変わります。ここで、微生物の働きを利用して、化学的に処理された汚水は、きれいで安全な水に生まれ変わります。東京湾へ放流されています。

雨水は、特に浄化の必要がないため、雨水管を通して根木名川、小橋川、江川などに放流されています。

分流式公共下水道



“蘇水”は みんなの力で

お風呂

髪の毛やせっけんなどの固形物を流すと、固まって配水管の詰まる原因となります。

トイレ

紙おむつや硬い紙は絶対に流さないでください。排水パイプを詰まらせる大きな原因となります。必ず水溶性の紙を使用してください。

台所



ごはんつぶや野菜くず、ビニール片などをそのまま流すと、下水道管を詰まらせる原因になります。

てんぷら油などの油類を流すと下水道管を汚すだけでなく、汚水の処理を困難にするため、川や海を汚してしまいます。凝固剤や吸着マットを使い、燃やせるごみとして処理してください。

洗濯場



洗剤に含まれるリンは下水処理施設でもなかなか取り除くことができません。適正な量を使用するようにしてください。また、ベランダで洗濯機を使用している人は雨水の排水口に排水していないか確認してください。洗濯水は雨水管には流せません。

雨水管へつながる側溝

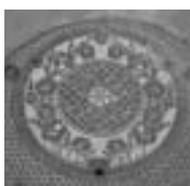
ガソリンやシンナーは絶対に流さないでください。また、洗車をした水やオイル類も川や海の水質悪化の原因となりますから流さないでください。



せっかく下水道がつくられても、わたしたちが間違った使い方をしていたのでは、効率良く水をよみがえらせることはできません。わたしたちが汚してしまった水を、元のきれいな水に戻すには、守らなければならないことがいくつもあります。

身近な下水道施設・マンホール

なかなか人目に触れることのない下水道施設の中で、唯一よく目にするのがマンホールです。下水道管の掃除や修理のため、道路上から人の出入りができるようにするための施設で、市内には“梅”と“アジサイ”の花をモチーフにした蓋を使用しているところもありますから、足元をよくご覧ください。



東和田地先のマンホール

Q 市の下水道管には、汚水管と雨水管があるって聞いたけど、どうして雨水を地下に埋まった管で流すの。



A 普通、雨水は道路の横の溝をって近くの川などに流すんだけど、街の中などは地面の下に管を通したほうが、道路も広く使えるし、においも虫も発生しなくて、とても合理的なんだよ。道路の下なら新しく水路の用地を買わずに済むのでお金の節約にもなるんだ。





下水道がなくとも きれいな水に

水を使うのは下水道のあるところだけではなくではありません。どこであろうと使った水を汚してしまったり、きれいにして自然に返す義務があります。みんなが水をよみがえらせるために協力することが大切です。



下水道のない所はどうするの？

自分の家で 汚水処理

これまで、下水道で水をよみがえらせる話をしてきましたが、市

合併処理浄化槽の補助金			
維持管理費補助金		設置補助金	
人槽区分	限度額	人槽区分	限度額
5人槽	18,000円	5人槽	354,000円
6人槽	21,000円	6・7人槽	411,000円
7人槽	24,000円	8～10人槽	519,000円
8人槽	27,000円	11～20人槽	981,000円
10人槽	33,000円	21～30人槽	1,668,000円
11～50人槽	33,000円	31～50人槽	2,238,000円

内には未整備の地区がたくさんあります。それらの地区でも、昔と違い各家庭で洗剤や食用油などの使用が大幅に増えています。

では、下水道のないところはどのようにして汚水を処理すればよいのか。そのひとつの方法が合併処理浄化槽による汚水処理です。この合併処理浄化槽は前ページで図解のある下水処理施設の「家庭版」ともいえるもので、浄化後の水質も下水道と変わりません。

きれいな水と快適な 生活環境をつくるため 市も応援します

市では、し尿と台所、風呂などの雑排水を併せて処理する、合併処理浄化槽の維持管理（保守点検・清掃）に年間要した費用の2分の1相当額（上表左）を助成しています。

また、合併処理浄化槽を設置する人には、その設置費用の一部（上表右）を補助しています。このときに、トイレを設置した場合水洗便所設置補助金（1棟につき1基）が支給されます。

騒音地域については、特例により補助金の限度額が異なります。くわしくは環境衛生課（☎20 1553）へお問い合わせください。

よみがえった水で 川や海が きれいになります



今まで何気なく下水道を使っていた人も、その大切さがよく分かっていただけでしょうか。

わたしたちが、毎日の生活の中で汚してしまった水を、また元のきれいな水に「よみがえらせる」ための大切な「施設」、それが下水道です。そして、

このよみがえった水を自然に返してやることで、わたしたちの周りの川や海もきれいなまままでいられるのです。

地面の下で、わたしたちの快適な生活を支えてくれている下水道の役割を理解し、大切に使いましょう。



特集および下水道についてくわしくは下水道課（☎20 1553）へ。

下水道普及率

